

一、英会関係

2月17日 オ/回談会開催。日英双方首席代表(英側バーシバル)のオープニングスピーチを行なった。

英側はオープニングスピーチにおいて

- (1) 現行取極期間における両国貿易は漸次拡大し、全件として満足すべき状態にある。
- (2) 英側は既に与えたものには一切変更を加えず、貿易を着実に拡大したく、日本側の輸入削減は遺憾であると表明した。

わが方は

- 1 スターリング地域収収の著しい入超を指摘。
- 2 英本国及び植民地が我方輸入にOGLを供与を要求。
- 3 わが方輸入クォーター削減の必要を説明した。

(注) オ/回談会昌頭 国務大臣ボーン・モーガンが新選の挨拶を行なったが原子炉購入調査団の活動に重大関心をもち、これに言及した。

これに対し英側は、18日のオ/回談会において

- (1) 日本側入超の事実は同情するが互恵協定も廃止されたことであり、そのことから英側譲許を算術的に導き出さない。